

平成28年度(第39期)

公益財団法人岡山県郷土文化財団事業計画

公益財団法人として自らの設立基本理念を念頭に据え、公益性をより重視した事業展開に取り組み、定款に掲げた事業を通して、「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与してまいります。また、日銀によるマイナス金利の導入等により資産運用は一層困難になっており、さらに日銀による2%の「物価安定の目標」が掲げられていることに加え、来年度には消費税増税も予定されていることから景気変動のリスク要因も考慮し、今後の景気の動向と財団運営への影響について注意深く見守りつつ、着実な事業の推進を目指します。事業の実施にあたっては、依然として厳しい財務環境が続く中、今年度は事務局の移転も予定されるため、適正かつ効果的、効率的に運営するとともに、経費の効率化に努めます。

基本理念

岡山県下に所在する優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、岡山県ゆかりの先賢の顕彰並びに伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより、「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与する。

定款に定める事業(第4条関係)

- 1 優れた文化的遺産、自然景勝地、保護すべき動植物の生息地等(以下「文化財等」という。)の取得及び保護活用並びに先賢の顕彰に関する事業

- 2 文化財等や先賢の事績等に関する資料の収集、保存及び公開並びに講演会等の開催その他知識の普及啓発に関する事業
- 3 伝統に根ざした地域文化の創造及び振興に関する事業
- 4 第1号から第3号までに規定する事業に関連するボランティアの育成及び支援
- 5 第1号から第3号までに規定する事業に関連する受託事業
- 6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

事業内容(平成28年4月1日から29年3月31日まで)

公1 文化財等保護活用事業 (第4条第1号、第4号関係)

(1) 岡山の自然や伝統的工芸、芸能などの文化的遺産等の保護、活用に関する事業

- ① 公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会との連携
- ② 備中漆復興支援(新見市、真庭市)
 - ・備中うるし利活用協議会による普及啓発事業を支援
- ③ 文化財庭園「後楽園」の保護・活用を進めるための由緒ある能舞台での「岡山後楽園で能をたのしむ会」や「お田植え祭、観蓮節、名月観賞会」など伝統行事の伝承、維持
 - ・「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催
岡山後楽園能舞台 10月16日(日)
 - ・茶つき祭5月15日(日)、お田植え祭6月12日(日)、観蓮節7月3日(日)、名月観賞会9月15日(木)
- ④ 第六回後楽園写真展コンテスト
 - ・募集期間 8月1日(月)～9月30日(金)
 - テーマ 後楽園の花と木
 - ・展示12月23日(金・祝)～1月9日(月・祝)

- ⑤ 後楽園を国内外の方々によりよく知ってもらうための
「後楽塾(後楽園専任ボランティア育成)」

・第12期生 一般コース及び外国語(英語、中国語、韓国語)

コース計20名

募集 9月～(10月末締切)

入塾 11月中旬、講座修了 3月中旬

・第10期生(3月卒塾)、第11期生(ボランティア活動)の支援

- ⑥ 延養亭特別公開

5月21日(土)～29日(日)

10月24日(月)～10月30日(日)

- (2) 岡山県ゆかりの先賢の顕彰に関する事業

- ① 平成元年に設置した「内田百閒記念碑園(岡山市中区)」の維持
管理及び岡山県庁分庁舎(旧岡山県職員会館三光荘)「内田百
閒コーナー」の管理運営

- ② 平成23年に整備した「池田光政公御涼所跡(岡山市北区)」の維
持管理

- ③ 百閒朗読会

岡山後楽園夜間特別開園春の幻想庭園実施期間中に内田百
閒等の作品を取り上げ朗読会及び展示を行う。

5月14日(土)、15日(日)

- ④ 故犬養康彦氏から寄贈、寄託された犬養家関係資料及び生田
安宅(岡山の医学教育先駆者)など遺族から寄贈された遺品の整
理

・資料の整理等

- ⑤ 岡山県をはじめ、他団体の顕彰事業への協力

公2 普及啓発事業 (第4条第2号関係)

(1) 資料の収集、保存・公開

- ① 岡山後樂園、内田百閒、犬養木堂、岡崎嘉平太等を中心に本県に所在する文化財等やゆかりの先賢の資料の充実
- ② これまで収集した植物関係図書・文献(難波文庫)の岡山県立図書館への寄託及び植物標本の岡山県自然保護センターへの寄託、郷原漆器(真庭市)資料の岡山県立博物館への寄託、郷土画家の秀作の岡山県立美術館への寄託などその保存・活用

(2) 講演会・研修会等の開催

- ① 専門家を招聘して「郷土文化講座」を開催し、その成果を「岡山の自然と文化」等として取りまとめ、県内の図書館、公民館等の公共施設、大学等の教育機関に配布

- ・講座数 4講座程度

- ・開講時期 平成29年1月～3月 4回程度

- ・場所 岡山県立図書館

- ② 岡山の自然や文化、先賢ゆかりの地での研修会を開催し、現地見学や体験をするとともに、専門家の話を聞き知見を深める。

「現地研修会」を開催

- ・池田家ゆかりの由加山と下津井を訪ねるコース (倉敷市)

4月27日(水)

江戸時代、岡山藩主の祈願所であった由加山蓮台寺の客殿を見学、由加参りの起点であった田の口港周辺の財団が修復した丁石などを見学、下津井見学ほか

- ・池田家ゆかりの姫路城と赤穂城跡を訪ねるコース

(姫路市・赤穂市)

6月9日(木)

平成の保存修理を終えた姫路城の見学、赤穂城跡の本丸庭園や復元中の二ノ丸庭園(非公開)の見学

- ・吉備路文学館「清水比庵」展の特別鑑賞会と清水比庵ゆかりの地

を訪ねるコース（高梁市・笠岡市） 10月

吉備路文学館の特別鑑賞会、高梁市立歴史美術館の見学、比庵の墓がある威徳寺ほか

・岡山県立博物館「新見荘－中世荘園の記憶－」展特別解説会と新見荘を訪ねるコース（新見市） 11月

岡山県立博物館の特別解説会にて「東寺百合文書」の現物見学、新見市に残る新見荘ゆかりの地の見学ほか

「美術鑑賞会等」を開催

・企画展「すみいろ－古筆・宸翰・大名の書－」(仮)(林原美術館)

5月12日(木)

・「原田直次郎展」（岡山県立美術館） 6月29日(水)

・「浦上玉堂と春琴・秋琴父子の芸術世界」（岡山県立美術館）

10月

③ 第六回おかやま文化フォーラム「今、中世の実像を求めて」

岡山県と共催で、「おかやま」の歴史像を整理することを目的に、『中世の「おかやま」』をテーマに取り上げるフォーラムの第3回目を開催する。

10月

(3) 広報誌等印刷物の作成

① 専門家による寄稿や県内文化施設の催事案内等を掲載した広報誌「きび野」を年4回(各4,000部)発行する。

① 会員向けに時々のトピックスを財団ニュース「お知らせ」として年10回程度(各2,300部)送付する。

③ 一般向けにホームページで財団の活動紹介や県内文化施設の催事案内等を随時行う。

公3 地域文化振興事業（第4条第3号関係）

(1) 地域文化の創造、育成に関する事業

- ① 郷土文化財団クラシックコンサート
 - ・岡山交響楽団による演奏会
- ② 郷原漆器(岡山県指定重要無形民俗文化財(民俗技術))について、引き続き郷原漆器生産振興会(真庭市)の生産体制の強化と販売促進、後継者の育成に協力する。
- ③ 会員作品展
 - ・天神山プラザ 第2展示室 5月17日(火)～22日(日)
- ④ 県内各地で開催される各種文化活動を共催し、開催費の一部及び広報を支援するとともに、地域文化活動を奨励するため後援を行い広報を支援するなど地域文化の育成を図る。また、広報誌「きび野」及びホームページに県内各地の文化施設の催事、行事を定期的に掲載し広く一般に配布し、文化施設の活用を支援する。

(2) 苗木交付事業

サクラ(国花)、モモ(県花)、ウメなど古来から親しまれてきた花木の苗木を市町村を通じて希望する地元コミュニティに配布し、植栽、管理を協働で行うことにより地域の景観形成と地域の活性化、花見、果実の活用等の木の文化育成を図る。

- ・交付基準 1市町村1年度当たり100本以内、公共的な場所1カ所当たり50本以上

公4 受託事業 (第4条第5号関係)

(1) 文化財庭園「後樂園(岡山市北区)」の管理運営受託

- ・岡山県との業務分担の整理や退職に伴う職員の採用等により、適切な管理運営に努める。

(2) 岡山の先賢を顕彰する「犬養木堂記念館(岡山市北区)」

及び生家」及び「岡崎嘉平太記念館(加賀郡吉備中央町)」の指定管理

- ・今年度は、指定管理期間(平成24年4月1日～29年3月31日)の最終年度となるため、管理や業務内容の見直しとともに、引き続き指定管理者の指定を受けるため必要な手続等を進める。
- (3) 自然との触れ合いを通じて、県民の自然への理解を深め、自然保護への認識を高める「岡山県自然保護センター(和気郡和気町)」のタンチョウ飼養管理及び傷病鳥獣の保護の再受託、動植物の調査研究、自然保護思想の普及啓発等業務への協力
- (4) 第十三回岡山県「内田百閒文学賞」の実施
文学賞作品募集等に関する業務を県から受託し、今年度は作品審査、表彰等の企画・運営を行う。

その他 (第4条第6号関係)

- (1) 理事会、評議員会
- ・理事会(年3回以上開催、第1回:5月13日(金))
 - ・評議員会(定時:5月31日(火)及び必要に応じて臨時開催)
- (2) 庶務事項
- ・岡山県総合福祉会館閉鎖(11月末)に伴う事務所の移転を円滑に進め、事業に支障のないよう会員等への周知に努める。

平成28年度(第39期)に係る資金調達及び設備投資の見込みについて

1 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

当期中における設備投資の見込みは次のとおりです。

事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額 (円)	資金調達方法又は 取得資金の用途
公1～4 法人会計	事務所移転に伴う新事務 所敷金、保証金の預託	1,500,000	自己資金
	新事務所内装工事費	1,000,000	

以上